

あとがき

このたび「通史編Ⅰ」に引き続き、「通史編Ⅱ」をお届けいたします。この発刊が最終となり、資料整理後、計画された市史編さん事業は終了いたします。

昭和六十三年度から本格的にスタートした市史編さん事業は、資料編第一巻「考古」、第二巻「古代・中世」、第三巻「近世」、第四巻「近現代Ⅰ」、第五巻「近現代Ⅱ」、第六巻「深良用水」、第七巻「民俗」を刊行、そして平成十一年度の第八巻「通史編Ⅰ」に次いで、平成十二年度に第九巻「通史編Ⅱ」を刊行することができました。これにより通史編二巻の完成となります。

当初の刊行計画は前記以外に「図録編」を刊行する予定でしたが、バブル経済の崩壊という未曾有の社会経済状況に陥り、その波及により地方自治体の財政事情にも深刻な影響を受けるにおよび、刊行の変更を余儀なくされる事態となりました。

「通史編Ⅰ」では、原始から近・現代に至るまでの全時代を一冊に叙述しましたが、今回の「通史編Ⅱ」は、地域の人びとの生活に山や水がどのように関わってきたのか、そしてそこに暮らし、歴史を受け継いだ人びとを取りあげ、その舞台となった村落を時代ごとに追いながら書き表しました。その中では、時代ごとに子どもたちはどのような視点で当時をみていたのかなどを、「児童文苑」や「駿東文園」などを通して、戦前と戦後の子どもの変貌の様子を地域の行事やあそびなどから記述しました。

このように「通史編Ⅱ」では、「通史編Ⅰ」とは趣きを変えて記述してありますが、「通史編Ⅰ」同様、読みやすく親しみやすい編集に心がけました。

今までに資料編、通史編の刊行以外にも前述したように多くの歴史図書を発刊し、その結果、明らかになった資料に基づき裾野市の歴史が掘り起こされ、史実は鮮明になってきたと思います。

これらのことは、貴重な史・資料を長年にわたり保管し、研究のため提供され、また掲載のご理解を賜りました所蔵者の方々並びに関係機関のお陰であり、あらためて感謝申し上げます。

また、市史編さん事業が始まる以前から献身的に古文書の整理・解読・保存に携わってこられた牧野駿先生・大庭景申先生・鈴木強先生や伊藤政秋先生を始め多くの方々にご協力いただきましたことを忘れてはならないと思います。

市史編さん事業を行うに当り、多年にわたり膨大な史・資料等を丹念に考察し、編集され、わが郷土の歴史を描く大事にご尽力いただいた市史編さん専門委員をはじめ調査委員の方々のご労苦に深く感謝申し上げます。

市史編さん事業は、単に『裾野市史』の刊行だけで終わらせるのではなく、これまでに収集整理してきました貴重な史・資料を市民に示し、後世に伝えていくことも大きな使命であり、その意味から市史編さん事業が、二世紀の裾野市発展の礎となっていくことを期待するものであります。

結びになりますが、『裾野市史』の印刷製本にあたり、始終ご理解・ご協力くださいました株式会社精興社、特に中村勉氏に対しまして、厚くお礼申しあげます。

裾野市史編さん関係者

市史編さん委員会(平成十三年三月現在)

委員長 杉山政康 助役

副委員長 勝又 壽 学識経験者

委員 羽田 勲 同

同 勝田光信 同

同 芹澤充寛 同

同 岡田憲明 同

同 西川久雄 教育委員長

同 有光友學 専門委員代表

同 羽田 久 教育長

同 渡邊隆之 企画部長

同 横山哲也 総務部長

同 大庭孝康 教育部長

同 眞田利彦 企画部部参事兼企画財政課長

同 谷山 匡 学校教育課長

市史編さん専門委員(平成十三年三月現在)

代 表 有光友學 横浜国立大学教授

高橋 敏 国立歴史民俗博物館教授

中野國雄 日本考古学協会会員

福田アジオ 神奈川大学教授

安田常雄 電気通信大学教授

四方一洙 国士館大学教授

市史編さん調査委員(平成十三年三月現在)

厚地淳司 静岡県立沼津東高等学校教諭

井口俊靖 加藤学園暁秀高等学校教諭

伊東誠司 一橋大学大学院社会学研究科

博士課程

岩崎信夫 東京都立目黒高等学校教諭

岩田重則 東京学芸大学助教

大串潤児 信州大学人文学部講師

菊池邦彦 東京都立航空工業高等専門学校

校助教授

地区協力員

齋藤弘美 日本民俗学会会員

西地区 植松甲子男

石脇村

坂本紀子 青山学院女子短期大学非常勤講師

同 大庭達男

佐野村

柴雅房 静岡県教育委員会社会教育課

同 加藤信雄

大畑村

指導主事

杉村 齊 三島市郷土資料館館長

(平成十二年十月逝去)

同 歌崎久作

定輪寺村

瀬川裕市郎 静岡大学教育学部非常勤講師

同 服部克己

富沢村

関根省治 富士市立吉原商業高等学校教諭

同 水口忠榮

伊豆島田村

西川尚男 沼津市立大岡中学校教諭

同 関野政雄

水窪村

仁藤敦史 国立歴史民俗博物館助教授

同 中西保男

二本松新田

東島 誠 東京大学史料編纂所研究機関

同 東地区 窪田恒男

久根村

研究員

同 藤原善次

稲荷村

松崎真吾 森村学園非常勤講師

同 芹澤 章

公文名村

松田香代子 日本民俗学会会員

同 清水四郎

茶畑村

宮村田鶴子 日本民俗学会会員

同 芹澤 文

茶畑村

湯川郁子 札幌学院大学経済学部助教授

同 飯塚政高

麦塚村

(旧村名)

本巻担当者氏名

○監修

有光友學・高橋 敏・中野國雄
福田アジオ・安田常雄・四方一洙

○編集・執筆・校正

第一編 裾野の生活史

第一章 山と生活

第一節 中野國雄・仁藤敦史

第二節 松田香代子

第三節 厚地淳司

第四節 湯川郁子

第五節 大串潤児

第二章 裾野の水

第一節 中野國雄・福田アジオ

第二節 柴 雅房

第三節 岩崎信夫

第四節 宮村田鶴子

第三章 子どもの風景

第一節 高橋 敏

第二節 斎藤弘美

第三節 坂本紀子

第四節 安田常雄

第二編 人物に見る裾野の歴史

飯尾宗祇

有光友學

今川義元

有光友學

岩崎佐十郎

井口俊靖

大庭源之丞

菊池邦彦

大庭唯吉

坂本紀子

大森一族

東島 誠

柏木官里

高橋 敏

柏木甚右衛門

菊池邦彦

葛山氏堯

有光友學

葛山氏広

有光友學

葛山氏元	有光友學	万里集九	有光友學
葛山景倫	松崎真吾	北条氏五代	有光友學
葛山信貞	東島 誠	松井庄左衛門	井口俊靖
勝田三平	四方一洙	御宿友綱	東島 誠
かねほり甚左衛門	菊池邦彦	源頼朝	松崎真吾
閑谷法師	東島 誠	三好玄意	岩田重則
小長谷正綱	柴 雅房	柳澤文溪	高橋 敏
小林 聿	大串潤児	山科言繼	有光友學
榊 研三	坂本紀子	唯念	高橋 敏
鈴木朝蔵	福田アジオ	湯山いゑ	井口俊靖
鈴木忠治郎	西川尚男	湯山吟右衛門	高橋 敏
芹沢多根	四方一洙	湯山宮内左衛門(初代)	柴 雅房
大高重成	東島 誠	湯山範右衛門	柴 雅房
武田信玄	有光友學	湯山半七郎	岩崎信夫
友野与右衛門	高橋 敏	湯山安右衛門	関根省治
野村彦太夫	関根省治	湯山柳雄	岩崎信夫
服部大誦	四方一洙	横田村詮	関根省治

横山健吾	湯川郁子	第一〇章	佐野	福田アジオ
横山文左衛門	厚地淳司	第一章	二ツ屋	松田香代子
横山良吉	松田香代子	第二章	伊豆島田	松田香代子
冷泉為和	有光友學	第三章	水窪	松田香代子
渡辺勘兵衛	菊池邦彦	第四章	富沢	宮村田鶴子
渡辺虎杖	高橋 敏	第五章	須山	松田香代子
渡辺隼雄	岩崎信夫	第六章	下和田	松田香代子
第三編 裾野村落誌		第七章	今里	松田香代子
第一章 岩波	福田アジオ・杉村 齊	第八章	葛山	宮村田鶴子
第二章 深良	福田アジオ・杉村 齊	第九章	金沢	松田香代子
第三章 久根	岩田重則	第二〇章	上ヶ田	松田香代子
第四章 公文名	岩田重則	第二一章	御宿	斎藤弘美
第五章 稲荷	岩田重則	第二二章	千福	宮村田鶴子
第六章 茶畑	岩田重則	第二三章	大畑	宮村田鶴子
第七章 平松	岩田重則	第二四章	桃園	宮村田鶴子
第八章 麦塚	斎藤弘美			
第九章 石脇	松田香代子			

○口絵写真撮影(口絵番号一〜一一)

写真家 堤 勝雄

掲載図表一覧

図表No.	頁	キャプション	出典・所蔵者等
3-94	867	御宿の位置	
3-95	877	御宿の字	
3-96	878	御宿の字一覧	
3-97	884	御宿の集落	
3-98	885	御宿の内部区分	
3-99	893	千福の位置	
3-100	902	千福の字	
3-101	903	千福の字一覧	
3-102	907	千福の内部区分	
3-103	908	千福の集落	
3-104	913	大畑の位置	
3-105	922	大畑の字	
3-106	922	大畑の字一覧	
3-107	925	大畑の集落	
3-108	931	桃園の位置	
3-109	937	桃園の字一覧	
3-110	937	桃園の字	
3-111	942	桃園の集落	
3-112	943	桃園の内部区分	

図表No.	頁	キャプション	出典・所蔵者等
3-60	714	富沢村の支配の変遷	
3-61	715	駿河国駿東郡富沢村の戸数と人口	
3-62	717	富沢村高の変化	
3-63	721	富沢の集落	
3-64	729	須山の位置	
3-65	736	須山の字	
3-66	737	須山の字一覧	
3-67	743	須山の集落①	
3-67	744	須山の集落②	
3-68	748	須山の内部区分	
3-69	754	須山口富士登山道	
3-70	754	須山口神主と御師の家	
3-71	767	下和田の位置	
3-72	772	下和田の字	
3-73	773	下和田の字一覧	
3-74	779	下和田の集落	
3-75	780	下和田の内部区分	
3-76	789	今里の位置	
3-77	794	今里の字	
3-78	795	今里の字一覧	
3-79	799	今里の集落	
3-80	801	今里の内部区分	
3-81	809	葛山の位置	
3-82	819	葛山の字	
3-83	820	葛山の字一覧	
3-84	827	葛山の集落	
3-85	828	葛山の内部区分	『葛山の民俗』
3-86	837	金沢の位置	
3-87	842	金沢の字	
3-88	842	金沢の字一覧	
3-89	847	金沢の集落	
3-90	853	上ヶ田の位置	
3-91	857	上ヶ田の字	
3-92	857	上ヶ田の字一覧	
3-93	861	上ヶ田の集落	

掲載図表一覧

図表No.	頁	キャプション	出典・所蔵者等
3-24	577	茶畑の字	
3-25	579	茶畑の字一覧	
3-26	584	茶畑の集落	
3-27	587	茶畑の内部区分	
3-28	593	平松の位置	
3-29	597	平松の字	
3-30	597	平松の字一覧	
3-31	601	平松の集落	
3-32	605	麦塚の位置	
3-33	609	麦塚の字	
3-34	610	麦塚の字一覧	
3-35	612	麦塚の集落	
3-36	621	石脇の位置	
3-37	626	石脇の字	
3-38	627	石脇の字一覧	
3-39	630	石脇の集落	
3-40	639	佐野の位置	
3-41	650	佐野の集落	
3-42	652	佐野の内部区分	
3-43	654	佐野の字	
3-44	655	佐野の字一覧	
3-45	663	二ツ屋の位置	
3-46	668	二ツ屋の字	
3-47	668	二ツ屋の字一覧	
3-48	670	二ツ屋の集落	
3-49	673	伊豆島田の位置	
3-50	678	伊豆島田の字	
3-51	679	伊豆島田の字一覧	
3-52	683	伊豆島田の集落	
3-53	691	水窪の位置	
3-54	698	水窪の字	
3-55	698	水窪の字一覧	
3-56	700	水窪の集落	
3-57	707	富沢の位置	
3-58	712	富沢の字	
3-59	713	富沢の字一覧	

図表No.	頁	キャプション	出典・所蔵者等
1-22	232	蛇籠	『地方凡例録』(下巻)
1-23	232	枠出	『地方凡例録』(下巻)
1-24	236	小田原藩領村々の寄合普請	元文6年2月「酉年下郷拾五ヶ村井堰川除人足積り帳」
1-25	250	井組二十九ヶ村の湖水掛り比率一覧	『市史』六-254
1-26	252	湖水掛りの田の比較	
1-27	254	箱根湖減水ノ当時貯水中字逆川附近ノ図	1896年5月1日付告訴に添付された逆川附近の図 芦湖水利組合所蔵
1-28	291	市域の簡易水道	裾野市水道部調べ
1-29	292	市の水道事業による給水区域の拡張	『平成11年度水道事業年表』裾野市水道部より作成
3-1	491	岩波の位置	
3-2	496	岩波の字	
3-3	496	岩波の字一覧	
3-4	498	岩波の集落	
3-5	501	深良の位置	
3-6	514	深良の字	
3-7	517	深良の字一覧	
3-8	521	深良の内部区分	
3-9	528	深良の集落	
3-10	533	久根の位置	
3-11	536	久根の字	
3-12	537	久根の字一覧	
3-13	539	久根の集落	
3-14	545	公文名の位置	
3-15	549	公文名の字	
3-16	550	公文名の字一覧	
3-17	553	公文名の集落	
3-18	555	公文名の内部区分	
3-19	561	稲荷の位置	
3-20	563	稲荷の字	
3-21	564	稲荷の字一覧	
3-22	565	稲荷の集落	
3-23	569	茶畑の位置	

掲載図表一覧

図表No.	頁	キャプション	出典・所蔵者等
1- 1	49	箱根火山の地形概念図	
1- 2	74	山で採れる山菜・きのこ一覧	静岡県史民俗調査報告書第十五集『須山の民俗』
1- 3	83	炭焼き道具	『市史』七
1- 4	85	サキヤマの道具	『市史』七
1- 5	88	パイスケ作りの道具	『市史』七
1- 6	89	ミツマタはぎ	『叢書』4
1- 7	104	村々の山稼ぎの場・採草地	『市史』三
1- 8	110	天保3年 大谷山炭木売却代金内訳	「天保3年大谷山炭木代金割合帳」 柏木正男氏所蔵
1- 9	119	愛鷹牧における捕馬数	横山正美氏所蔵
1-10	120	愛鷹牧における払馬	横山正美氏所蔵
1-11	122	天保12年愛鷹牧勢力人足数と村数	「三牧御捕馬勢力割并牽馬人足番組帳」 横山正美氏所蔵
1-12	127	須山村愛鷹山付官林絵図面	須山支所所蔵
1-13	160	近衛歩兵第一連隊による実弾演習(1912年7月12日～)射撃方向略図	須山支所所蔵
1-14	178	敗戦直後の演習場 人口・戸数・地目面積・農作物・採草	『東富士演習場重要文書類集』上巻 御殿場市役所所蔵
1-15	186	旧日本軍時代とアメリカ軍との使用上の比較	『東富士演習場重要文書類集』上巻 御殿場市役所所蔵
1-16	195	富岡村での演習場汚水被害を報じる『岳麓新聞』	「岳麓新聞」1957年10月16日付 岳麓新聞社所蔵
1-17	199	自衛隊の演習と裾野地域のひとびとの反応についての報道	「岳麓新聞」1959年9月13日付 岳麓新聞社所蔵
1-18	214	裾野市中央部の水系水路図	
1-19	220	大口堰	
1-20	228	村明細帳等に見る各村の用水	
1-21	230	深良用水開通以前の黄瀬川用水(裾野市域)	

写真No.	頁	キャプション	所蔵者等
3 - 121	945	宗祇五百年祭記念碑除幕式	杉山義則氏所蔵

掲載写真・所蔵者一覧

写真No.	頁	キャプション	所蔵者等
3-86	831	八幡神社の祭り	
3-87	833	嶽の雷さん	
3-88	834	家移り粥	
3-89	835	依京寺境内の閻魔大王	
3-90	843	金沢堤	
3-91	850	浅間神社	
3-92	850	神明宮	
3-93	851	水神の祭り	
3-94	852	北斗七星が彫られた庚申塔	
3-95	854	上ヶ田全景(左側に神明宮の森)	
3-96	863	集会所から遷される御神体	
3-97	863	行列に参加した稚児	
3-98	864	厄神社の祭り	
3-99	865	集会所脇の馬頭観音群	
3-100	865	庚申塚の庚申塔	
3-101	873	御宿古堰	
3-102	875	湯山安右衛門日記(1710年)	湯山芳健氏所蔵
3-103	882	嶽南尋常小学校(1924年)	勝又茂美氏所蔵
3-104	887	御宿八幡宮の祭り	
3-105	888	荘園寺での地藏盆	
3-106	891	岩に彫られた俱利伽羅不動	
3-107	894	千福が丘ニュータウン	
3-108	897	千福城跡	
3-109	900	かろうと堰	
3-110	910	再建がなった千福の地藏堂	有井定氏所蔵
3-111	911	谷津の山の神	
3-112	912	四ツ溝の石塔群	
3-113	915	大畑城跡	
3-114	917	大畑遺跡上屋敷地区中世墓	
3-115	920	熊野神社と大日堂	
3-116	928	山の神の祭り	
3-117	929	身代わり地藏	
3-118	933	定輪寺	
3-119	940	温情舎	不二聖心女子学院所蔵
3-120	944	桃菌神社の祭り	

写真No.	頁	キャプション	所 蔵 者 等
3-50	672	唯念名号碑	谷井洋行氏所蔵
3-51	677	三俣堰	
3-52	686	熊野神社	
3-53	687	現在の不動尊・淡島堂	
3-54	688	富士見橋と境川	
3-55	689	堰原の子安地藏	
3-56	695	大堰	
3-57	703	水窪神社の祭り	
3-58	705	手城の観音	
3-59	708	穴堰の清掃	
3-60	724	旧甲州街道(庚申塚)	
3-61	724	富二平橋の渡り初め	
3-62	726	愛鷹神社の子ども神輿	
3-63	727	観音坂上の馬頭観音	
3-64	732	街道のムラ十里木	
3-65	741	須山小学校	
3-66	750	須山地区研修センター	
3-67	753	水ヶ塚水源の隧道	
3-68	757	須山浅間神社の祭り	
3-69	759	須山囃子と田向囃子	
3-70	762	現在の観音堂と旧登山道	
3-71	764	田向の天神講	
3-72	765	頼朝の井戸	
3-73	769	呼子ニュータウン	
3-74	777	富岡第二小学校	
3-75	782	山神社境内の龍爪社	
3-76	785	飯盛山の不動の祭り	
3-77	786	大胡山の道祖神	
3-78	791	旭滝	
3-79	804	今里の浅間神社	
3-80	805	岩船地藏の祭り	
3-81	807	廻国塔	
3-82	813	葛山城跡	
3-83	815	葛山居館跡	
3-84	818	薬師堂	
3-85	825	中里の天王社さん	葛山中里区所蔵

掲載写真・所蔵者一覧

写真No.	頁	キャプション	所蔵者等
3-16	556	毘沙門さん	
3-17	557	吉田神社の祭り	
3-18	559	五輪塔群	
3-19	559	鬼鹿毛馬頭観音の祭り	
3-20	567	稲荷神社	
3-21	567	順礼供養塔	
3-22	570	不動の滝	
3-23	573	柏木屋敷	
3-24	583	海軍機墜落現場の「忠魂碑」	
3-25	591	大日堂の大銀杏	
3-26	598	佐野原神社	
3-27	600	現在の裾野駅	
3-28	602	八幡宮の祭り	
3-29	615	見目神社での夏祭り	
3-30	617	麦塚のドンドヤキ	
3-31	619	東光寺境内石造物群	
3-32	620	長戸呂堰	
3-33	622	大石と佐野堰	
3-34	624	石脇の村絵図(1820年)	
3-35	633	三嶋神社の祭り(お天王さん)	
3-36	634	区主催の納涼祭	
3-37	636	不動堂とその周辺の石造物	
3-38	637	木食観正名号碑	
3-39	644	法雲寺	
3-40	644	蓮光寺	
3-41	646	二本松の大型ショッピングセンター付近	
3-42	648	五龍館ホテル	湯山芳健氏所蔵
3-43	648	旅行ガイドブック(1893年)	湯山芳健氏所蔵
3-44	657	八幡宮の神輿巡行	
3-45	657	二本松のシャギリ	
3-46	660	佐野堰	
3-47	661	区民ふれあい広場横の石造物群	
3-48	665	菅沼佐五兵衛の門人奉納灯籠	
3-49	671	浅間神社の子ども神輿	水口清文氏所蔵

写真No.	頁	キャプション	所蔵者等
2-3	406	柏木甚右衛門の墓(茶畑西原地先)	
2-4	420	葛山景倫(願性)座像	興国寺所蔵
2-5	425	宝永5年日記	湯山芳健氏所蔵
2-6	428	小林聿	深良支所所蔵
2-7	431	鈴木忠治郎	鈴木芳子氏所蔵
2-8	441	箱根湖水堀抜元締水仁碑(正徳元年 惣ヶ原)	
2-9	443	万治2年富沢村年貢割付状の裏書	渡辺武彦氏所蔵
2-10	445	深良用水開削時の沼津代官野村為利の署名・実印	湯山芳健氏所蔵
2-11	455	吉田神社祭礼当番引継札	
2-12	470	湯山安右衛門の日記	湯山芳健氏所蔵
2-13	472	荘園寺(御宿)	
2-14	473	湯山柳雄	裾野市立富岡第一小学校開校110周年記念誌『嶽南』
2-15	481	天和3年浅井佐次右衛門等の金子返済起請文	渡辺武彦氏所蔵
2-16	483	渡辺勘兵衛の墓(定輪寺)	
3-1	493	駒形八幡神社	
3-2	499	岩波雛子	
3-3	504	深良の景観	
3-4	507	深良陣山・堀ノ内	
3-5	510	新川	
3-6	513	深良川第三発電所	
3-7	521	天田橋	
3-8	526	赤子神社	
3-9	526	深良神社	
3-10	530	和田の双体道祖神	
3-11	530	町田の庚申講	
3-12	535	観音堂(久根老人生きがいセンター)	
3-13	541	久根の八幡宮	
3-14	543	西最寄の辻の石塔群	
3-15	546	石舟橋	

掲載写真・所蔵者一覧

写真No.	頁	キャプション	所蔵者等
1-78	347	『児童文苑』満州事変特集(1931年)	社団法人駿東地域教育協会所蔵
1-79	349	岳陽少年団(1925年)	裾野市立東小学校創立70周年記念誌『いずみ』
1-80	353	不二農園での勤労奉仕(1941年)	静岡県立裾野高等学校創立80周年記念誌
1-81	355	戦時下の『児童文苑』(1939年)	社団法人駿東地域教育協会所蔵
1-82	358	改題し再刊された『駿東文園』(1948年)	社団法人駿東地域教育協会所蔵
1-83	361	『駿東文園』作文コンクール特集号(1955年)	社団法人駿東地域教育協会所蔵
1-84	365	戦後の子どもたち(1958年)	裾野市広報広聴課刊『ふりかえる裾野』
1-85	366	オーストラリアの子どもが書いた日本印象記(1949年『駿東文園』)	社団法人駿東地域教育協会所蔵
1-86	368	馬力(1955年)	裾野市広報広聴課刊『ふりかえる裾野』
1-87	370	機械化された脱穀機(1956年『駿東文園』)	社団法人駿東地域教育協会所蔵
1-88	374	『駿東文園』東京オリンピック特集号(1964年)	社団法人駿東地域教育協会所蔵
1-89	376	高度成長期の『駿東文園』(1964年)	社団法人駿東地域教育協会所蔵
1-90	379	「東名のあかり」(1969年『駿東文園』)	社団法人駿東地域教育協会所蔵
1-91	382	高度成長前の田植え風景(1953年)	裾野市広報広聴課刊『ふりかえる裾野』
1-92	386	高度成長前の農村(1954年)	裾野市広報広聴課刊『ふりかえる裾野』
1-93	388	『駿東文園』作文コンクール特集号(1965年)	社団法人駿東地域教育協会所蔵
2-1	399	大庭源之丞の押印	西島義禮氏所蔵
2-2	399	大庭源之丞の墓(深良向畑地先)	

写真No.	頁	キャプション	所 蔵 者 等
		手」	
1-53	281	富沢のカワバタ	
1-54	283	境川(大場川)	
1-55	284	麦塚の景観	
1-56	289	石溜	
1-57	289	分水楯	
1-58	290	富岡水道水源地	
1-59	293	水神宮	
1-60	294	子どもたちの水あそび	歌崎久作氏所蔵
1-61	298	『土の綴り方』	横山俊彦氏所蔵
1-62	300	『児童文苑』活版第1号(1926年)	社団法人駿東地域教育協会所蔵
1-63	306	「夜刈」が掲載された『児童文苑』(1928年)	社団法人駿東地域教育協会所蔵
1-64	313	初節句(1960年 佐野)	長田文明氏所蔵
1-65	314	七つの祝い-宮参り-(1965年 三嶋大社)	長田文明氏所蔵
1-66	314	七つの祝い-オフルマイ-(1985年 上ヶ田)	柏木秋男氏所蔵
1-67	316	愛鷹神社(富沢)	
1-68	320	ドンドヤキ(深良)	
1-69	322	節分の豆まき(御宿)	
1-70	323	天神講のお楽しみ会(須山)	
1-71	326	十五夜の供え物(茶畑)	
1-72	331	川あそび	裾野市立深良小学校創立100周年記念誌『ふから』
1-73	332	不二農園の茶畑(1958年)	裾野市広報広聴課刊『ふりかえる裾野』
1-74	335	子守りをする少女	裾野市立深良小学校創立100周年記念誌『ふから』
1-75	339	農繁期の子ども(1960年)	裾野市広報広聴課刊『ふりかえる裾野』
1-76	344	「少年倶楽部」創刊号(1914年)	裾野市立深良小学校創立100周年記念誌『ふから』
1-77	345	佐野駅での出征兵士の見送り	裾野市立深良小学校創立100周年記念誌『ふから』

掲載写真・所蔵者一覧

写真No.	頁	キャプション	所蔵者等
1-28	166	「御料地侵墾地追認ノ儀許可願」	須山支所所蔵
1-29	170	国道469号 現在の須山・御殿場間道路	
1-30	174	現在の滝ヶ原駐屯地正門	
1-31	175	現在の板妻駐屯地正門	
1-32	175	現在の駒門駐屯地正門	
1-33	183	須山村長から村民にあてた演習場内草刈りについての注意	須山支所所蔵
1-34	185	「演習場内の密耕作の取締について!!」	須山支所所蔵
1-35	190	農業用水の不足による被害	「水枯れで岡にあがった水稻」(裾野町)『駿日グラフ』 渡辺公一氏所蔵
1-36	197	キャンプ富士正門	
1-37	204	黄瀬川	
1-38	205	五竜の滝	
1-39	206	銚子口の滝	
1-40	208	金沢川	
1-41	209	小柄沢川	
1-42	210	深良川	
1-43	212	久保田川	
1-44	212	泉川	
1-45	216	境川	
1-46	226	乙女ヶ淵堰	
1-47	231	水門(1)(天保2年「井組廿八ヶ村箱根湖水路村々堰々図」部分)	大庭重一氏所蔵
1-48	233	大堰と三俣(明治32年写「深良用水御普請所絵図」部分)	芦湖水利組合所蔵
1-49	234	新川(年不詳「深良用水石垣・土手普請場絵図」部分)	勝又重俊氏所蔵
1-50	235	公文名堤	市川逸郎氏所蔵
1-51	237	元文6年「酉年下郷拾五ヶ村井堰川除人足積り帳」	柏木正男氏所蔵
1-52	238	年不詳「御宿村人足扶持米切	湯山博氏所蔵

掲載写真・所蔵者一覧

写真No.	頁	キャプション	所 蔵 者 等
1- 1	46	ブナ林	
1- 2	50	芦ノ湖と箱根町	
1- 3	52	鋸山	勝又一步氏所蔵
1- 4	62	富士山全景(水ヶ塚より)	杉山義則氏所蔵
1- 5	64	富士山本宮浅間大社社殿(富士宮市)	
1- 6	69	現在の大畑集落	
1- 7	75	防獣柵碑	
1- 8	78	箱根山に自生するハコネダケ	
1- 9	85	キンマでの炭の搬出	坂田政明氏所蔵
1-10	88	パイスケ作り	
1-11	91	軒端に積まれたモシキ	
1-12	93	龍爪講の料理(シシのモツ煮)	
1-13	96	現在の上ヶ田集落	
1-14	99	茶畑の山々	
1-15	100	富沢の山々	
1-16	101	富士山(十里木より)	杉山義則氏所蔵
1-17	105	炭焼き(須山)	
1-18	114	櫓	横山正美氏所蔵
1-19	117	横山家の正門(千福)	
1-20	118	愛鷹牧の木戸の跡(富沢)	
1-21	136	明治42年 払下10周年を記念して建てられた愛鷹山払下記念碑	横山正美氏所蔵
1-22	148	茶畑山岳委員会の看板	
1-23	153	深良財産区所有の山の看板	
1-24	157	東富士演習場の全景	
1-25	158	東富士演習場内 畑岡付近	
1-26	163	現在の須山地区のすがた	
1-27	165	近衛歩兵第三連隊射撃演習風景(1913年6月)	『東富士演習場重要文書類集』 上巻口絵 御殿場市役所所蔵

口絵写真・所蔵者一覧

写真No.	キャプション	所 蔵 者
1	発展をとげる裾野市街地	
2	自然環境に恵まれる裾野市	
3	岩波村絵図(年不詳)	岩波森林組合
4	公文名村絵図(年不詳)	市川逸朗
5	茶畑村絵図(1677年)	柏木正男
6	佐野村絵図(1839年)	佐野区有
7	富沢村絵図(1847年)	渡辺武彦
8	今里村絵図(1875年)	杉本隆彦
9	葛山・千福村絵図(1753年)	横山正美
10	御宿村絵図(1861年)	湯山芳健
11	裾野市全域絵図(1876年)	岩崎達生
12	定輪寺村絵図(1772年)	大石和己

年号	読み	西暦年代
正徳	しょうとく	1711～1716
享保	きょうほう	1716～1736
元文	げんぶん	1736～1741
寛保	かんぼう	1741～1744
延享	えんきょう	1744～1748
寛延	かんえん	1748～1751
宝暦	ほうれき(ほうりゃく)	1751～1764
明和	めいわ	1764～1772
安永	あんえい	1772～1781
天明	てんめい	1781～1789
寛政	かんせい	1789～1801
享和	きょうわ	1801～1804
文化	ぶんか	1804～1818
文政	ぶんせい	1818～1830
天保	てんぼう	1830～1844
弘化	こうか	1844～1848
嘉永	かえい	1848～1854
安政	あんせい	1854～1860
万延	まんえん	1860～1861
文久	ぶんきゅう	1861～1864
元治	げんじ	1864～1865
慶応	けいおう	1865～1868
明治	めいじ	1868～1912
大正	たいしょう	1912～1926
昭和	しょうわ	1926～1989
平成	へいせい	1989～

年号一覧

南 朝		北 朝		年 号	読 み	西暦年代
年 号	西暦年代	年 号	西暦年代			
げんこう 元弘	1331～1334	げんとく 元徳 3	1331～1332	明徳(3～4)	めいとく	1392～1394
		しょうきよう 正慶	1332～1334	応永	おうえい	1394～1428
		けんむ 建武(元 ～3)	1334～1338	正長	しょうちょう	1428～1429
けんむ 建武(元 ～3)	1334～1336	けんむ 建武(元 ～4)	1334～1338	永享	えいきょう	1429～1441
えんげん 延元	1336～1340	りやくおう 暦応	1338～1342	嘉吉	かきつ	1441～1444
こうこく 興国	1340～1346	こうえい 康永	1342～1345	文安	ぶんあん	1444～1449
		じょうわ 貞和	1345～1350	宝徳	ほうとく	1449～1452
		かんろう 観応	1350～1352	享徳	きょうとく	1452～1455
		ぶんわ 文和	1352～1356	康正	こうしょう	1455～1457
しょうへい 正平	1346～1370	えんぶん 延文	1356～1361	長祿	ちょうろく	1457～1460
		こうあん 康安	1361～1362	寛正	かんしょう	1460～1466
		じょうじ 貞治	1362～1368	文正	ぶんしょう	1466～1467
けんとく 建徳	1370～1372	おうあん 応安	1368～1375	応仁	おうにん	1467～1469
ぶんちゆう 文中	1372～1375	えいわ 永和	1375～1379	文明	ぶんめい	1469～1487
てんじゆ 天授	1375～1381	こうりやく 康暦	1379～1381	長享	ちょうきょう	1487～1489
こうわ 弘和	1381～1384	えいとく 永徳	1381～1384	延徳	えんとく	1489～1492
げんちゆう 元中	1384～1392	しとく 至徳	1384～1387	明応	めいおう	1492～1501
		かきよう 嘉慶	1387～1389	文亀	ぶんき	1501～1504
		こうおう 康応	1389～1390	永正	えいしょう	1504～1521
		めいとく 明徳(元 ～2)	1390～1392	大永	だいえい(たいえい)	1521～1528
				享祿	きょうろく	1528～1532
				天文	てんぶん	1532～1555
				弘治	こうじ	1555～1558
				永祿	えいろく	1558～1570
				元亀	げんき	1570～1573
				天正	てんしょう	1573～1592
				文祿	ぶんろく	1592～1596
				慶長	けいちょう	1596～1615
				元和	げんな	1615～1624
				寛永	かんえい	1624～1644
				正保	しょうほう	1644～1648
				慶安	けいあん	1648～1652
				承応	じょうおう	1652～1655
				明暦	めいれき	1655～1658
				万治	まんじ	1658～1661
				寛文	かんぶん	1661～1673
				延宝	えんぼう	1673～1681
				天和	てんな	1681～1684
				貞享	じょうきょう	1684～1688
				元祿	げんろく	1688～1704
				宝永	ほうえい	1704～1711

※南朝の建武3年は2月29日に延元元年に改元。

年号	読み	西暦年代	年号	読み	西暦年代
承德	じょうとく	1097~1099	建暦	けんりゃく	1211~1213
康和	こうわ	1099~1104	建保	けんぼう	1213~1219
長治	ちょうじ	1104~1106	承久	じょうきゅう	1219~1222
嘉承	かしょう	1106~1108	貞応	じょうおう	1222~1224
天仁	てんにん	1108~1110	元仁	げんにん	1224~1225
天永	てんえい	1110~1113	嘉祿	かるく	1225~1227
永久	えいきゅう	1113~1118	安貞	あんてい	1227~1229
元永	げんえい	1118~1120	寛喜	かんぎ	1229~1232
保安	ほうあん(ほあん)	1120~1124	貞永	じょうえい	1232~1233
天治	てんじ	1124~1126	天福	てんぷく	1233~1234
大治	だいじ	1126~1131	文暦	ぶんりゃく	1234~1235
天承	てんしょう	1131~1132	嘉禎	かてい	1235~1238
長承	ちょうしょう	1132~1135	暦仁	りゃくにん	1238~1239
保延	ほうえん(ほえん)	1135~1141	延応	えんのう	1239~1240
永治	えいじ	1141~1142	仁治	にんじ	1240~1243
康治	こうじ	1142~1144	寛元	かんげん	1243~1247
天養	てんよう	1144~1145	宝治	ほうじ	1247~1249
久安	きゅうあん	1145~1151	建長	けんちょう	1249~1256
仁平	にんぺい(にんびょう)	1151~1154	康元	こうげん	1256~1257
久寿	きゅうじゅ	1154~1156	正嘉	しょうか	1257~1259
保元	ほうげん(ほげん)	1156~1159	正元	しょうげん	1259~1260
平治	へいじ	1159~1160	文応	ぶんおう	1260~1261
永暦	えいりゃく	1160~1161	弘長	こうちょう	1261~1264
応保	おうほ(おうほう)	1161~1163	文永	ぶんえい	1264~1275
長寛	ちょうかん	1163~1165	建治	けんじ	1275~1278
永万	えいまん	1165~1166	弘安	こうあん	1278~1288
仁安	にんあん	1166~1169	正応	しょうおう	1288~1293
嘉応	かおう	1169~1171	永仁	えいにん	1293~1299
承安	じょうあん	1171~1175	正安	しょうあん	1299~1302
安元	あんげん	1175~1177	乾元	けんげん	1302~1303
治承	じしょう(ちしょう)	1177~1181	嘉元	かげん	1303~1306
養和	ようわ	1181~1182	徳治	とくじ	1306~1308
寿永	じゅえい	1182~1184	延慶	えんきょう	1308~1311
元暦	げんりゃく	1184~1185	応長	おうちょう	1311~1312
文治	ぶんじ	1185~1190	正和	しょうわ	1312~1317
建久	けんきゅう	1190~1199	文保	ぶんぼう(ぶんぼ)	1317~1319
正治	しょうじ	1199~1201	元応	げんおう	1319~1321
建仁	けんにん	1201~1204	元亨	げんこう	1321~1324
元久	げんきゅう	1204~1206	正中	しょうちゅう	1324~1326
建永	けんえい	1206~1207	嘉暦	かりゃく	1326~1329
承元	じょうげん	1207~1211	元徳(元~2)	げんとく	1329~1331

年号一覽

注 西暦年代には改元年も含む

年号	読み	西暦年代	年号	読み	西暦年代
大宝	たいほう	701～704	康保	こうほう(こうほ)	964～968
慶雲	けいうん	704～708	安和	あんな	968～970
和銅	わどう	708～715	天禄	てんろく	970～973
霊亀	れいき	715～717	天延	てんえん	973～976
養老	ようろう	717～724	貞元	じょうげん	976～978
神亀	じんき	724～729	天元	てんげん	978～983
天平	てんぴょう	729～749	永観	えいかん	983～985
天平感宝	てんぴょうかんぼう	749～	寛和	かんな	985～987
天平勝宝	てんぴょうしょうぼう	749～757	永延	えいえん	987～989
天平宝字	てんぴょうほうじ	757～765	永祚	えいそ	989～990
天平神護	てんぴょうじんご	765～767	正暦	しょうりゃく	990～995
神護景雲	じんごけいうん	767～770	長徳	ちょうとく	995～999
宝亀	ほうき	770～781	長保	ちょうほ	999～1004
天応	てんおう(てんのう)	781～782	寛弘	かんこう	1004～1012
延暦	えんりゃく	782～806	長和	ちょうわ	1012～1017
大同	だいどう	806～810	寛仁	かんにん	1017～1021
弘仁	こうにん	810～824	治安	じあん(ちあん)	1021～1024
天長	てんちょう	824～834	万寿	まんじゅ	1024～1028
承和	じょうわ	834～848	長元	ちょうげん	1028～1037
嘉祥	かしょう(かじょう)	848～851	長暦	ちょうりゃく	1037～1040
仁寿	にんじゅ	851～854	長久	ちょうきゅう	1040～1044
斉衡	さいこう	854～857	寛徳	かんとく	1044～1046
天安	てんあん	857～859	永承	えいしょう	1046～1053
貞観	じょうがん	859～877	天喜	てんぎ	1053～1058
元慶	がんぎょう	877～885	康平	こうへい	1058～1065
仁和	にんな	885～889	治暦	じりゃく(ちりゃく)	1065～1069
寛平	かんびょう(かんべい)	889～898	延久	えんきゅう	1069～1074
昌泰	しょうたい	898～901	承保	じょうほう	1074～1077
延喜	えんぎ	901～923		(じょうほ, しょうほ)	
延長	えんちょう	923～931	承暦	じょうりゃく	1077～1081
承平	じょうへい	931～938	永保	えいほ(えいほう)	1081～1084
天慶	てんぎょう	938～947	応徳	おうとく	1084～1087
天曆	てんりゃく	947～957	寛治	かんじ	1087～1094
天徳	てんとく	957～961	嘉保	かほう	1094～1096
応和	おうわ	961～964	永長	えいちょう	1096～1097

復員	360	水遊び	295
富士黒土層	45	水ヶ塚水源	287
「富士山記」	62	水漉し	282
富士山道者	59, 69	水溜	288
富士山南方寺	59	水役人	289
富士裾野演習場	137, 156, 181	三俣堰	224, 244
富士裾野演習場使用協定(演習場使用協定)	161, 167, 171	三俣西堰	243
富士裾野演習場対策協議会	184, 189	見做し水利権	276
富士マサ	82	宮川	205
富士峠行者	318	(む)	
富知神社	62	麦塚堰	226
普通水利組合	273	(も)	
不登校	387	申し合せ組合	272
富原義徳	297, 300, 304, 309	牧士	117
古川	210, 222	元野牧	117, 119
古川堰	210	(や)	
豊後堰	222	山の神	311
分水栴	288	山元	105, 138
(へ)		(ゆ)	
ベトナム戦争	375, 380	湧水	280, 282
勉強	381	湯山半七郎	266
弁当場水源	287	(よ)	
(ほ)		用沢川	207
法印さん	318	幼年倶楽部	345
報酬金	162, 170, 172	横浜地方裁判所	255
(ま)		横山健吾	136, 138
埋樋	222	寄合普請	235
マッカーサー	366	(ら)	
末代	66	ラジ(チ)オ	351, 364
眉木	232	(り)	
マンガ	384	龍爪講	94
満州	346	(わ)	
満州事変	346	粹出	232
(み)			
三嶋大社	311, 321		
御宿村古堰	229		

第一編 裾野の生活史 索引

チブス	285	日中戦争	351
銚子口滝	206		
提灯行列	349	(ぬ)	
貯水槽	288	沼津藩	243
(つ)		(の)	
土の綴り方	297	農村の機械化	370
ツツミ(堤)	217	農繁休暇	338
詰村	117, 123	野村維章	257
(て)		(は)	
手伝い	335	「梅花無尽蔵」	58
寺山の水源	287	バイスケ	78, 86
テレビ	372, 386	廃弾組合同約	174
電気洗濯機	372	廃弾払い下げ	163, 169
天神山	48, 67	箱根湖用水深良村外六ヶ村水利組合	255
伝染病	285	箱根神社	49, 58
天皇制民主主義	363	ハコネダゲ	78, 86
(と)		早川	253
種狩川	211	原田種成	260, 263
東京オリンピック	374	万里集九	58
東京控訴院	256	(ひ)	
東京電燈株式会社	278	東富士入会組合	196
道者関	71	東富士演習場対策委員会(東富士演習場対策協議会)	191
富岡水道	291	東富士演習場地域農民再建連盟	196, 198
富岡水道組合	292	東富士演習場の安全確保に関する決議	201
富沢穴堰	229	東山(茶畑山)	76, 97, 130, 142
富沢堰	235	引き揚げ	360
富田鉄之助	266	牽馬人足	116, 124
トラホーム	343	非常時	353
(な)		評定所	240
内務大臣	276	平山川	209
中川	224	(ふ)	
中郷	223, 249	ファミリー・レストラン	377, 378
長戸呂川	226	深良川	210
名古屋控訴院	261	深良神社	329
(に)		深良水門	253
二間堀	223	深良村外七ヶ村	261
西山	97	深良山	98, 150
日曜幼稚園	338	深良用水	210, 220, 233, 247

(し)	
ジープ	366
シンドイ	76
静岡県駿東郡芦ノ湖普通水利組合	274
市制町村制	273
児童文苑	299, 301, 330
渋沢栄一	266
自普請	235
地水掛り	248
下郷	224, 249
蛇籠	231
蛇体	294
銃後の護り	352
十里木街道	59
出征兵士	345
少女倶楽部	344
少年倶楽部	344
少年団	348
勝負川	211
定輪寺	58
新川	221, 233, 239
心身たんれん	352
(す)	
水害予防組合	273
水源	280
水車	286
水神	293
水道	280
水配人	242, 270
水利慣行	261
水利組合	273
水利組合条例	273
水利組合法	274
水利権	257
水利土功会	272
水利妨害罪	257
水力発電	277
スーパー・マーケット	377
須釜入	101, 139
須釜土手	233
杉山正賢	300, 304, 308

スズタケ	86
須永傳蔵	254
炭焼き	82, 105, 130
須山振興会	196
須山浅間神社	70
駿河戸山	58
駿東郡深良村外二七ヶ村水利土功(工)協議会	272
駿東郡深良村外六ヶ村芦ノ湖水利組合	273
駿東郡民	259
(せ)	
精魂限り	226
勢子人足	116, 121, 123
接收地域農民生存権確立期成同盟	196
瀬名沢	205, 229
芹沢多根	278
千家尊福	266
浅間様	313
浅間神社(富士浅間神社)	62, 64
浅間神社	316, 329
仙石原	254
仙石原村外七ヶ町村	256
戦車	368
戦争体験	380
千福村堰	230
(た)	
第一次使用協定(東富士演習場)	200
大審院	257
「代脳録」	137
大場川	213
高橋虫麻呂	61
滝ヶ原廠舎	157, 159, 174
「竹取物語」	62
ダタラ	328
立会番	245
溜め池	217
タンク	290
檀那所(場)	71
(ち)	
地券発行	270

第一編 裾野の生活史 索引

オリエンタリズム	367		
御割合御普請	238		
		(か)	
カイコン	79		
瘡守稲荷	329		
霞野牧	117, 119		
カセギ・稼ぎ(山稼ぎ)	80, 103, 130		
河川法	275		
河川法施行規定	275		
「勝山記」	69		
家庭学習	334		
金沢堤	218		
狩野川	204		
上郷	249		
ガランザァ	209		
カロウト堰	222, 235		
カワノバタ	280, 283		
簡易水道	280, 291		
環境破壊	375, 377		
慣行水利権	276		
「閑谷集」	55, 68		
官民有区分	128, 140, 156		
官有地	129, 131, 133, 137, 139		
官林(官林指定)	86, 126, 133, 135		
		(き)	
黄瀬川	204, 247		
木戸	76		
給食	364		
キンマ(木馬)	79, 86		
勤労奉仕	354		
		(く)	
草の花	300		
クネ	75		
久保川	204, 219		
久保田川	212, 224		
蜘蛛が池	218		
公文名堤	218, 234		
黒鍬	239		
軍用地	176		
		(け)	
		景ヶ島	207
		ゲーム	385
		決意文	352
		(こ)	
		公共ノ利害	275
		交通戦争	377
		高度成長	367, 374, 375, 383, 384, 390
		校内暴力	387
		耕牧舎	255
		公有地	126
		甲ラ伏セ	255
		小柄沢	209
		小柄沢堰	235
		古期箱根火山	48
		国役普請	239
		湖水掛り	248
		国家主義	348
		小鍋田	291
		御普請	235
		小御岳火山	45
		子守り	333, 336
		古来ノ権利	261
		五竜の滝	205
		御料地	135, 137, 156, 169, 177
		金比羅神社	329
		(さ)	
		境川	213, 229
		逆川	255
		逆川事件	253
		逆川口水門	253
		サキヤマ	79, 84
		サツマイモ(サツマ)	81, 93
		里山	74
		佐野川	205, 207
		佐野堰	223, 229
		サブ・カルチャー	384
		サファリパーク	377
		「更級日記」	46, 63
		三間堀	223

第一編 裾野の生活史 索引

- ・内容についての記述のある箇所を主に抽出した。
- ・配列は五十音順とした。

(あ)		入田川	213
		岩波堰	219
		岩波西川堰	229
		(う)	
		梅の木沢川	211
		(え)	
		江ノ浦山	130, 144
		「演習場覚書」	161
		演習場内土地使用に関する協定	161
		(お)	
		大柄沢	209
		大口堰	219
		大久保川	207
		大迫貞清	269
		大沢川	206
		大堰	224
		大谷川	229
		大野原	89, 92, 102, 129, 140, 156, 201
		大野原開発委員会	177
		大野原御料地	166
		大湖堰	219
		大森氏	58
		奥山	74, 77
		御師	71
		小田原藩	243
		威し筒	94
		尾上新牧	119
		尾上牧	117, 119
		小野三郎	299
		御林	112
		御林守(御山守)	113
			978
浅間大神	62		
赤子神社	328		
旭滝	207		
芦湖水利組合	276		
愛鷹神社	316, 329		
愛鷹牧	76, 117, 122, 126, 135		
愛鷹牧畜会社	135		
愛鷹ローム層	54, 82		
芦ノ湖	253		
芦ノ湖水力電気株式会社	278		
あそび	331		
穴堰	225		
アニメ	385		
雨乞い	294		
アメリカ	365		
鮎壺の滝	206		
洗堰	233		
洗い場	281		
アラク	74, 79		
(い)			
井組	248		
井組三郷	248		
井組二九ヶ村	255		
いじめ	387		
泉川	212, 225		
板妻庵舎	157, 159, 174		
市場平	99, 142		
井戸	280, 282		
乾孚志	261		
今堰	227, 229		
慰問文	346		

裾野市史 第九卷 通史編 II

平成十三年三月二十五日 発行 ©

編集 裾野市史編さん専門委員会

発行 裾野市

静岡県裾野市佐野一〇五九番地
電話 〇五五九(九二)一一一一

印刷 株式会社 精興社

東京都千代田区神田錦町三丁目九番地

裾野市大字境図

